

# アンソレーナさんと“開発”を語ろう 途上国における、草の根住民運動の広がり

アンソレーナさんは、この一年も世界各地を巡り、皆さんに最新の報告をすることができます。

今年度のセミナーでは、これらの旅の見聞より、アフリカとアジアの、次の国々を取り上げ、住民とNGOsの活動状況、および各国政府の貧困者対策について紹介します。

第1回 4月19日(火) 105号室	エジプト	<b>カイロ市:</b> 貧困者の生活改善にかかわる専門的なNGOの動き。ゴミ回収民営化に積極的に参入を試みるリサイクルの街モカタンの住民。 <b>ミニア市:</b> 住民による上下水道の建設。搾取される石切り場の労働者や貧しい漁民の組合運動。
第2回 5月17日(火) 105号室	南アフリカと 他のアフリカ 諸国	南アフリカ政府の援助金プログラムは、環境改善プログラムへ発展。南アフリカの三大貧困者組織をサポートするURC(都市問題研究センター)の活動。ホームレスへの土地提供。南アフリカの住民運動は、マラウィやケニアなどにも波及。
第3回 6月21日(火) 105号室	タイ	スラムの住民組織の活動によって、線路沿いのスクォッターが土地と住宅を取得。政府と専門家、住民が協力して、タイの40都市で、スラム環境改善を実施。負債を減少させるための貧困者のコミュニティー活動。
第4回 7月12日(火) 105号室	パキスタン	カラチ住民による、下水道造りと生活改善活動は、多くのNGOsとコミュニティーの住民組織の手本となり、現在パキスタン全土に広がっている。パキスタンの二大州シンとパンジャブの州政府も、このやり方を正式に政策に取り入れた。

時間：午後6：30～8：30

会場：幼きイエス会(ニコラ・パレ)、105号室

参加費：各回 1,000円

講師：ホルヘ・アンソレーナ

毎年、半年間以上を世界各地のスラムなどの貧困者たちを訪ね、低価格住宅作りのアドバイザー、コーディネーターとして活躍する。居住環境改善に取り組む住民組織やNGOsを支援している。

SELAVIP(ラテン・アメリカ、アジア住居奉仕団)代表。1994年にマグサイサイ賞受賞。日本建築学会会員、イエズス会司祭。アルゼンチン生まれ。日本在住。

著書：「スラム民衆生活誌」「居住とのたたかい」「スラムの環境・開発・生活誌」共著・明石書店 / 「講座現代居住第5巻」共著・東京大学出版会 / 「SELAVIP」他多数。

主催：イエズス会社会司牧センター

連絡先： 03 - 3359 - 7655 Fax03 - 3358 - 6233 (セミナーの事前申込みは不要です。)

